

国際協力事業団 (JICA)

ブラジル連邦共和国
トカンチンス州
農業局 (SAG-TO)
環境企画局 (SEPLAN-TO)

トカンチンス州北部地域農牧開発計画調査

ファイナルレポート

要約

平成 13 年 8 月

序 文

日本国政府は、ブラジル国政府の要請に基づき、同国のトカンチンス州北部地域農牧開発計画にかかる開発調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施致しました。

当事業団は、平成12年4月から平成13年6月までの間3回にわたり、株式会社パシフィックコンサルタンツインターナショナルの城戸智氏を団長とする調査団を現地に派遣いたしました。

調査団は、ブラジル国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後国内作業を経て、ここに本報告書の完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画推進に寄与するとともに、両国の友好・親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成13年8月

国 際 協 力 事 業 団

総 裁

奇 藤 邦 彦

国際協力事業団
総裁 川上隆朗 殿

伝達状

今般、ブラジル国における「トカンチンス州北部地域農牧開発計画調査」が終了しましたので、ここに最終報告書を提出できることを喜びと致すものであります。

この報告書には、日本国政府関係省庁および貴事業団よりの計画策定に関する助言や提言、ならびにブラジル国政府関係省庁とのドラフトファイナルレポートについての討議やコメントなどを反映して、調査対象地域の農牧業に関するマスタープランおよび優先地区のフィージビリティ調査を取りまとめたものであります。

本調査の対象地域であるトカンチンス州北部地域は、ブラジル国北部地域に属するトカンチンス州の北部にあって、気象や土壌などの自然条件が農牧生産に適しているほか、整備された輸送インフラ等開発ポテンシャルは高く、適切な農牧業技術による生産性の向上と安定した営農によって、地域経済の活性化と農家の生活安定向上が図れる可能性を秘めております。一方、本地域は、法定アマゾン域に属しており、農牧業開発計画の策定に当たっては、常に環境との調和を図った持続可能なものであることに最大の注意を払って、将来を見すえたバランスの取れた開発を推進する事が望まれます。

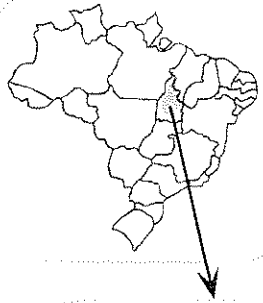
この報告書では、トカンチンス州北部地域の基幹産業である農牧業開発に関して、法定アマゾン域における環境基準の達成および貧困地域からの脱却のための地域経済活性化達成の観点から、粗放な草地の改善と集約的生産を通して土地資源の有効活用を図って、環境基準の保全地域拡大を目指した、農牧業関連事業および保全関連事業を提案しており、これらの計画が多大な社会的・経済的効果があることを確認しております。従いまして本報告書で提案した各種計画がプランに基づいて一日でも早く実現されることを心より望むものであります。

最後に、本調査の実施に際し、積極的なご支援とご協力を賜った貴事業団、外務省および農林水産省、ブラジル国政府農業省、トカンチンス州政府農業局、環境企画局および関係当局の担当諸官に対してここに深甚な謝意を表する次第であります。

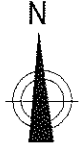
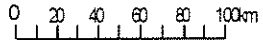
平成13年8月

トカンチンス州北部地域農牧開発計画調査

調査団長 城戸 智



ESTADO DE TOCANTINS



調査対象地域



調査対象地域の位置図